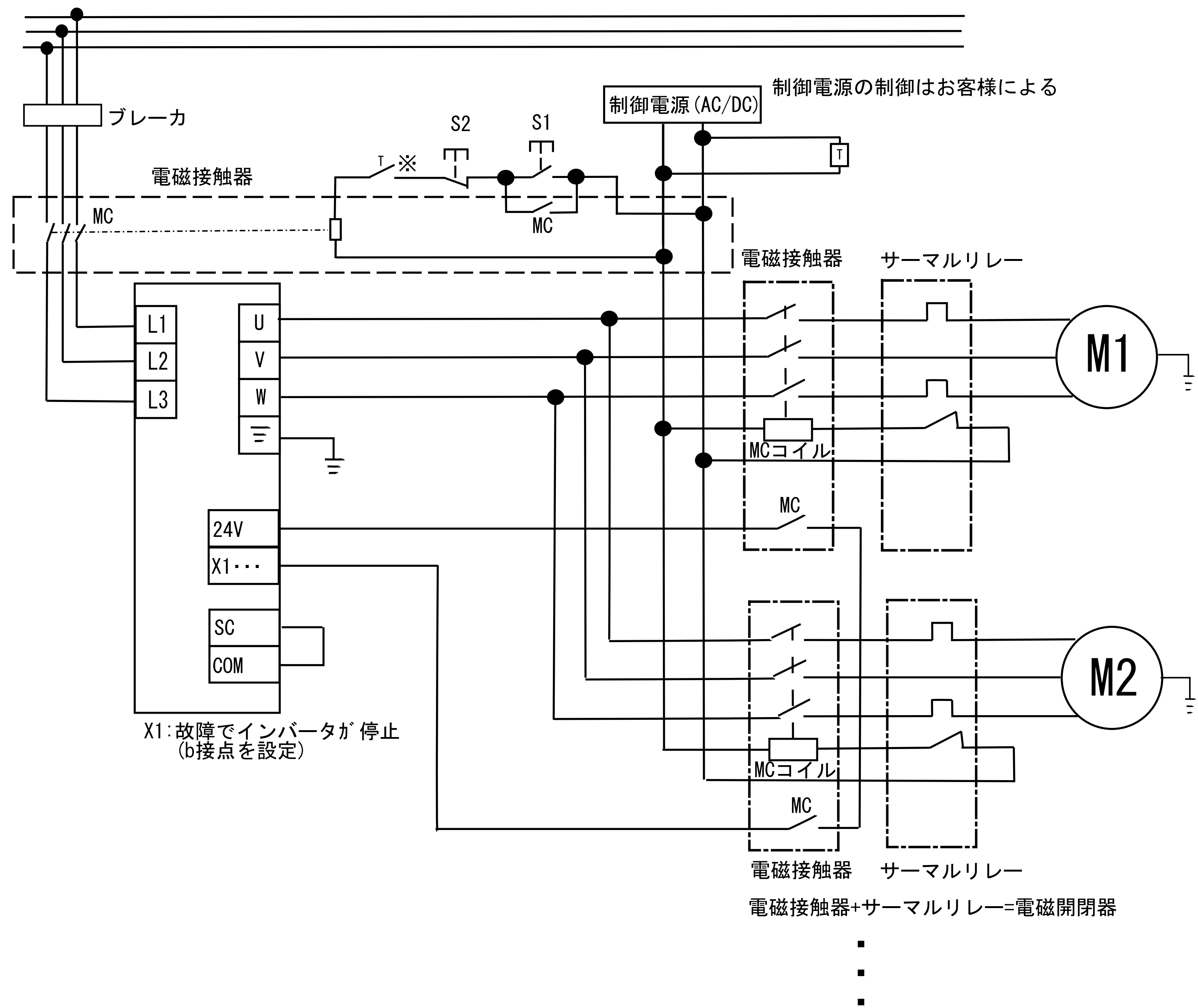


任意のモータの異常で、インバータを停止させる場合(全て)のモータが停止(PLC介入しない場合)



操作流れ:

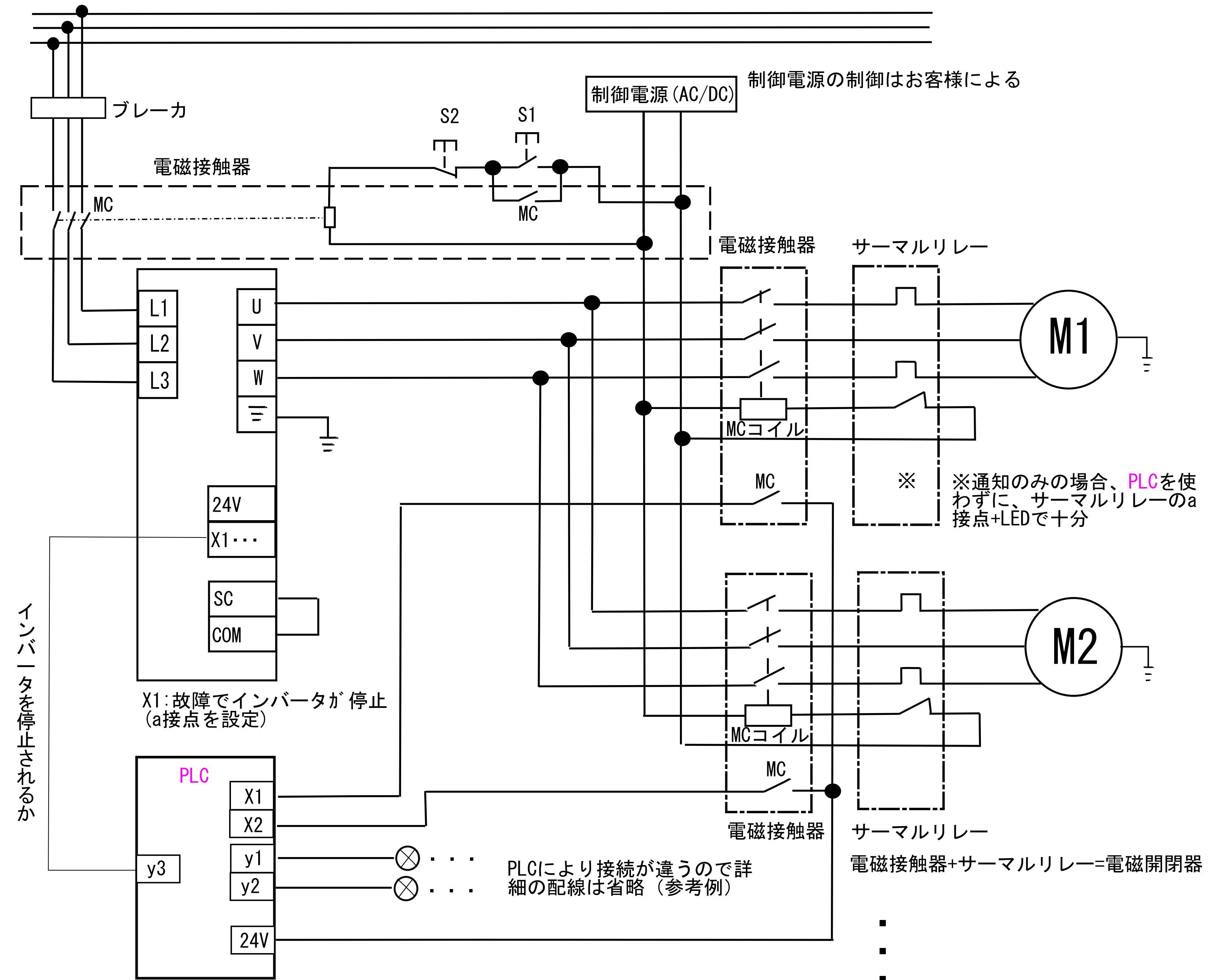
1. 制御電源(DC/AC)をONにする→全てのMCコイルがONになり→インバータとモータは接続の状態になる、
2. S1をONにする→インバータの電源が入る
3. 全てのMCをONになる場合、インバータの無故障を認識して正常にインバータを制御できる
逆に、全てのMCの中で任意のMCがOFFになると、インバータが故障を認識してインバータを停止させる

注意:

1. 1台モータを接続する場合、80mを超える場合、ACチョークの追加を推奨し、複数台の場合テストの必要がある。
2. レックスロスのインバータに最大12台のモータを接続する実例がある
3. 電磁接触器についてはコイルにサージ保護機能を持っているものを推奨

※: タイマーを使う理由について
インバータの電源投入タイミングは全てのインバータとモータ間の電磁接触器のONのタイミングにより早い場合、インバータはエラーを発生する

任意のモータの異常で、インバータを停止させない場合(異常のモータのみが停止)



インバータを停止されるか

操作流れ:

1. 制御電源(DC/AC)をONにする→全てのMCコイルがONになり→インバータとモータは接続の状態になる
2. S1をONにする→インバータの電源が入る
3. 全てのMCの中に任意のMCがOFFになると、PLCからその異常のモータにを認識できる
4. 異常が発生した場合、PLCからインバータを停止されることが可能

注意:

1. 1台モータを接続する場合、80mを超える場合、ACチョークの追加を推奨し、複数台の場合テストの必要がある。
2. レックスロスのインバータに最大12台のモータを接続する実例がある
3. 電磁接触器についてはコイルにサージ保護機能を持っているものを推奨
4. 全ての電磁接触器(MCコイル)をONになる前に、モータの回転を防ぐために、PLCのI0とX1を利用して下さい(例: PLCのX1、X2...のステータスで故障停止(インバータのX1)を制御する)。